


薬剤部だより No.133

山口大学病院薬剤部 2001.2.19

散剤の不均等指示はできません

従来できないはずの散剤の不均等指示が入力できていたため、出力される処方箋上にその指示が反映されず、医師の指示と異なる事態が発生していました。この度システムを改善し、散剤の不均等指示は元通りできなくなりましたのでご注意ください。従って下記処方1)は処方2)のように入力することになります。

例 処方1)	・コントミン散 100 - 100 - 200 - 0 で投与 1日3回 食後	400 mg 7日分
処方2)	・コントミン散 1日2回 朝昼食後 ・コントミン散 1日1回 夕食後	200 mg 7日分 200 mg 7日分



筋弛緩薬（毒薬）の保管管理等の徹底について

筋弛緩薬（マスキュラックス注、サクシン注、ミオブロック注）の管理を徹底するため、当院ではこれら3品目に関して、3部署（手休部 1 - 3病棟、母子医療センター）以外には病棟在庫を配置せず、薬剤部での管理に移行したいと思います。請求方法は前号でお知らせした通り、処方箋以外は受け付けず、破損・期限切れ等については、現品と引き換えするようにします。なお、在庫を配置している部署では、毒薬の取扱責任者（病棟医長以上、婦長）をおき、厳重な管理を行ってください。

タココンブ使用原料の原産国変更のお知らせ

フィブリン接着剤タココンブが、欧州におけるウシ伝達性海綿状脳症の発生動向を踏まえて、ドイツ産からニュージーランド産ウシトロピン使用の製品に切り換わります。当院におきましては下記の通りです。

レギュラーサイズ（9.5cm×4.8cm）	2月13日から完全に切り換わりましたので安心してご使用下さい。
ハーフサイズ（4.8cm×4.8cm）	
スモールサイズ（3.0cm×2.5cm）	3月中旬に切り換わる予定。それまでは払出しを行いません。

なお、変更品については青シールが貼付されています。

オーダ画面上の表示名を変更しました

アルマールとアマリールの取り違い事故が外部医療機関で相次ぎ発生しています。当院ではこの防止対策として、オーダ画面上の薬品名を以下のように変更しました。処方される際には更なる注意をお願いします。

アマリール錠

アマリール錠(血糖)

アルマール錠

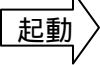
アルマール錠(遮)

抗癌剤チェックシステムの運用にご協力下さい

薬による医療事故防止の観点から、昨年10月、抗癌剤の『投与量』『投与速度』『連続投与日数』『休薬日数』のチェックシステムが稼働しました。このシステムの運用には、病院情報システム上の患者の『身長』『体重』情報が必須となりますが、稼働から3カ月間で72.5 %しか登録されていません。正確なチェックを行うために、

EGMAIN 患者画面上

患者プロフィール



身長及び体重の入力・更新

を必ず行って下さい。

また、(製剤室にて混注)をオーダされる場合には、無菌調製を円滑に行うため、正確な実施時刻を入力して下さい。

時間外の電話連絡は必要最小限に

ご存じのように、時間外業務(宿日直業務)は現在1人の薬剤師が行っており、休日の日中(8:30~17:00)では下記表の通りの処方箋を取扱っています。この仕事量は通常、2~3人分の薬剤師の仕事量になります。その上、数多くの電話応対で調剤が中断し、リスクマネジメント上大変危険な状態になっています。今までは処方箋送付時に電話連絡をお願いしていましたが、このような事情から、今後日中に関しては処方箋の到着が確認できますので、連絡は特に必要ございません。夜間は今まで通りよろしくお願いします。

時間外(日中)の電話連絡は必要最小限にご協力よろしく申し上げます!!

なお、処方ではできるだけ業務時間内をお願いします。

過去3カ月間の時間外(休日 8:30~17:00) 平均処方箋枚数				単位: 枚
	入院投薬	注射薬	外来	合計
平成12年11月	47.2	40.3	7.8	91.7
平成12年12月	52.5	39.1	6.6	98.2
平成13年1月	50.6	30.2	4.9	85.7

